

施策	1203 河川環境の整備・管理						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	水辺環境の整備、河川の美化活動、水質の浄化等を進める。						
成果指標	清掃作業参加人数 5年後(H25～H29)の参加人数16,250人(現状値15,180人)						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	15,200.00	15,450.00	15,700.00	16,000.00	16,250.00
		実績	15,488.00	15,875.00	15,795.00	16,068.00	
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	72,432	40,744	43,013	26,417	
実績		95,113	42,577	39,711	26,665		
内 部 評 価	貢献度	基本施策の目標値達成には、市民への普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正に行うことが必要であるため、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正かつ効果的に行い、平成28年度の目標値を達成している。事業・施策とも概ね良好の進捗である。					
	課題	自治会や愛護団体だけでなく関係する団体等へ連携の拡充や、幅広い層への普及啓発を行うことが必要であり、継続して水路等の適正な管理や市民等の清掃活動への支援も必要。					
	取組方針	自治会や愛護団体への厚い支援を行うとともに、河川環境の向上の啓発活動を行い、併せて水路等の適正な維持管理に努め、来年度以降も目標達成に向けて進めたい。					
外 部 評 価	全国的に河川の氾濫が多くなってきているため、早急に土砂撤去などの河川整備をして欲しい。また、整備の際は、市民の憩いの場やレクリエーションの場として整備することで市民への環境美化の啓発も検討すべきである。さらに、子どもたちの河川環境に対する意識向上のため、美化運動を含めた様々な体験学習の企画や、自治会、企業等を巻き込んだ環境イベントの実施を検討すべきである。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	152501	水質調査事業費				4,208	100
	152502	水質調査事業費(大平)				836	100
	152503	水質調査事業費(藤岡)				4,400	100
	426501	河川・水路清掃事業費				11,850	100
	426301	河川浄化施設管理費				2,348	70
	152504	水質調査事業費(都賀)				0	1
	426101	河川総務事務費				3,023	1
	421201	永野川桜つつみモデル整備事業費				0	0

平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	1203 河川環境の整備・管理		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	総務事務費等経費縮減可能と思われる事業もある。
	受益者負担	適正	負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	単位施策の目標達成度による貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	水辺環境の整備や河川の美化活動、また、水質の浄化等を進めることで河川環境の保全が図れる。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	080301	予算事業コード	426501	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	河川・水路清掃事業費										主	1203	安全で良好な水資源の確保	河川環境の整備・管理	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川維 道路河川維持第1係						担当者	瀬下 敏行				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	河川法に準拠				事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	62,000	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市民の河川愛護活動等によるゴミ、土砂等の処理、また市内排水路等の機能維持や生活環境の改善のため、市民とともに土砂や汚泥等の除去を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 市民による河川や水路等の清掃作業などによる河川愛護活動を支援し、また排水路施設等の保全、維持や環境の改善を市民と協働により行う。							
							成果目標	清掃作業参加人数 5年後(H25~H29)の参加人数16,250人(現状値15,180人)							

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度			平成28年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・市内水路の機能維持や生活環境改善のため、市民とともに土砂や汚泥等の除去を行う。 【成果】 ・巴波川(雷電橋から学悠館高校脇区間)の一斉清掃を2回(4月、7月)実施。(10月は中止) 一斉清掃に併せ市広報紙にて周知し、25自治会(約1,000人)の協力を得て実施した。 ・その他、市内水路等の清掃を実施した。			【事業の内容】 ・市内水路の機能維持や生活環境改善のため、市民とともに土砂や汚泥等の除去を行う。 【成果】 ・巴波川(雷電橋から学悠館高校脇区間)の一斉清掃を3回(4、7、10月)実施。 ・一斉清掃に併せ市広報紙にて周知し、25自治会(約1,000人)の協力を得て実施した。 ・その他、市内水路等の清掃を実施した。					
	県支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	12,168	9,600									
	事業費 a	12,168	9,600									
	人件費 b	2,250	2,250									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	14,418	11,850	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	36.00	35.00	清掃実施箇所数	清掃実施箇所数 H28目標値：30箇所	箇所		妥当	有	適正	有効	無	有
結果指標 2	2.00	3.00	巴波川一斉清掃	巴波川一斉清掃 H28目標値：3回	回							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 排水路等の美化清掃活動等を行っている自治会、住民グループ等に対して清掃用具の貸与などにより活動の支援を促すことで、美化啓蒙の向上と排水路等の維持管理のコスト縮減、環境美化を図っていく。 施策目標達成に向けて、河川愛護への意識高揚を図り、市広報紙やSNSを通じて一斉清掃に関する広報強化を検討する。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--